



## 平成27年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トーセ

コード番号 4728 URL <http://www.tose.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート部門統括

(氏名) 渡辺 康人

TEL 075-342-2525

四半期報告書提出予定日 平成27年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年8月期第3四半期の連結業績(平成26年9月1日～平成27年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第3四半期	3,590	△5.7	264	△23.5	433	17.2	271	64.1
26年8月期第3四半期	3,806	△2.2	345	△0.1	369	△19.7	165	△45.8

(注) 包括利益 27年8月期第3四半期 318百万円 (57.5%) 26年8月期第3四半期 202百万円 (△54.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第3四半期	36.41	36.23
26年8月期第3四半期	22.29	22.15

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第3四半期	7,470	5,815	77.5
26年8月期	6,722	5,639	83.5

(参考) 自己資本 27年8月期第3四半期 5,791百万円 26年8月期 5,612百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	12.50	—	12.50	25.00
27年8月期	—	12.50	—	—	—
27年8月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年8月期の連結業績予想(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,551	5.3	490	25.2	642	47.5	352	80.2	47.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 東星軟件(上海)有限公司  
 (注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年8月期3Q	7,763,040 株	26年8月期	7,763,040 株
② 期末自己株式数	27年8月期3Q	302,185 株	26年8月期	335,785 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年8月期3Q	7,445,253 株	26年8月期3Q	7,408,689 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の家庭用ゲーム業界におきましては、平成26年の国内家庭用ゲーム市場規模が前年度比約10%減の4,039億円(株式会社KADOKAWA・DWANGO調べ)で推移した一方で、「ニンテンドー3DS」向けを中心に複数の有力タイトルが安定した人気を博したほか、「Newニンテンドー3DS/3DS LL」の販売が順調に推移するなど、活発な動きも見られました。また、「プレイステーション4」が欧米において引き続き好調に推移するとともに、国内でも複数の有力タイトルの発売が予定され、省電力化・軽量化を実現した同機の新型機の投入も発表されるなど、今後の普及拡大が期待される状況となりました。

モバイル業界におきましては、平成27年3月末における国内のスマートフォン契約数が6,850万件、スマートフォンとフィーチャーフォンの合計契約数に占める比率が54.1%に拡大した中(株式会社MM総研調べ)、平成26年の国内ゲームアプリ市場規模が前年度比約18%増の7,154億円(株式会社KADOKAWA・DWANGO調べ)となるなど、スマートフォン向けゲーム市場の成長が続きました。また、ライフスタイル、健康、ビジネス、教育といったゲーム以外の幅広い分野でもコンテンツの市場競争が過熱する中、スマートフォンの高い性能を活かしてリッチなコンテンツを楽しめるネイティブアプリやネットワーク上で提供されるコンテンツが拡大し、これらの開発や運営に必要な人材の不足が、スマートフォン向けコンテンツ市場全般において引き続き顕著となりました。

当社グループは、こうした事業環境の変化を成長機会と捉え、当社グループの強みである技術力・開発力を活かした企画・提案力を通じて幅広いクライアントの需要にタイムリーかつ柔軟に対応しました。また、東南アジア向けコンテンツ配信事業においては、早期収益化と事業規模の拡大に向けて、国内でキャラクターやアニメなど有力なIP(知的財産)を保有するクライアントのコンテンツ展開をトータルにサポートすることで、配信サービス及びコンテンツの充実にも注力するとともに、新たな配信先の準備やフィリピン現地子会社の開発体制の増強に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、ゲームソフト開発事業において顧客による開発スケジュールの変更により、開発完了時期が第1四半期から当第3四半期にずれ込んだパチンコ・パチスロ案件の部分作業や、第2四半期から当第3四半期にずれ込んだ据置型ゲーム機のマルチプラットフォーム向け大型案件の開発業務が発生しましたが、いずれも当第3四半期に完了することができたことに加えて、顧客による仕様追加に伴って開発売上が増加した案件が複数発生しました。また、モバイル開発事業において当期に受注したスマートフォン向け大型案件で試作版の開発売上が計上したことや、ゲームソフト開発事業及びモバイル開発事業におけるロイヤリティ売上が好調に推移した結果、売上高は当初の想定を上回り、35億90百万円(前年同四半期比5.7%減)となりました。

利益面につきましては、新規事業において先行投資の実施と事業の進展に遅れが発生し、収益が想定よりも下回った結果、営業利益は2億64百万円(前年同四半期比23.5%減)となりました。一方で、円安の進行に伴って当社が保有する外貨建資産の為替差益など、営業外収益が想定以上に発生したことにより、経常利益は4億33百万円(前年同四半期比17.2%増)、持分変動利益などの発生により四半期純利益は2億71百万円(前年同四半期比64.1%増)となりました。

なお、開発完了タイトル数は、家庭用ゲーム機向け9タイトル、パソコン向け5タイトル、パチンコ・パチスロ向け2タイトル、アミューズメント向け1タイトル、携帯端末向け10タイトルの合計27タイトルとなりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

## ① ゲームソフト開発事業

ゲームソフト開発事業におきましては、引き合い件数の増加など受注環境が良好に推移する中、顧客による開発スケジュールの変更により、開発完了時期が第1四半期から当第3四半期にずれ込んだパチンコ・パチスロ案件の部分作業や、第2四半期から当第3四半期にずれ込んだ据置型ゲーム機のマルチプラットフォーム向け大型案件の開発業務が発生しましたが、いずれも当第3四半期に完了できたことや、顧客による仕様追加に伴って開発売上が増加した案件が複数発生した結果、開発売上は24億20百万円となりました。

運営売上につきましては、第1四半期に開始したスマートフォン向けゲームの運営業務が順調に推移した結果、30百万円となりました。

ロイヤリティ売上につきましては、過年度に開発完了したタイトルを中心に好調に推移した結果、35百万円となりました。

この結果、当事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は24億86百万円(前年同四半期比9.5%減)となり、営業利益は3億49百万円(前年同四半期比5.2%減)となりました。

## ② モバイル開発事業

モバイル開発事業におきましては、スマートフォン向けコンテンツの旺盛な開発需要を背景に、開発業務は概ね計画通りに推移し、当期に受注したスマートフォン向け大型案件において試作版の開発売上が計上できた結果、開発売上は4億71百万円となりました。

運営売上につきましては、顧客による開発スケジュールの変更により運営業務の開始時期が第1四半期から第2四半期にずれ込んだ大型案件があったことや、既存の非ゲーム系スマートフォン向け案件の運営売上が当初の想定を下回った結果、2億88百万円となりました。

ロイヤリティ売上につきましては、スマートフォン向けコンテンツのロイヤリティ売上が好調に推移した結果、1億11百万円となりました。

この結果、当事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は8億71百万円(前年同四半期比8.9%増)、営業利益は1億34百万円(前年同四半期比16.4%増)となりました。

## ③ その他事業

その他事業におきましては、パソコン向けアバター制作業務が堅調に推移したものの、その他のコンテンツ開発の受注状況が低調に推移した結果、開発売上は1億19百万円となりました。

運営売上につきましては、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズが展開するスマートフォン向けコンテンツ配信サービス「テイクアウトライブ/Take Out Live<sup>\*</sup>」において、音楽及びエンターテインメント業界の大型コンサートなどでリピート採用及び新規採用の実績を拡大したほか、ブライダル業界など様々な業種での採用を進めることができた結果、47百万円となりました。

ロイヤリティ売上につきましては、「Wi i U」向け家庭用カラオケ楽曲配信事業を中心として、65百万円となりました。

この結果、当事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は2億32百万円(前年同四半期比9.9%減)となりました。また、東南アジア向けコンテンツ配信事業においては、クライアントの有力IPを用いた複数のスマートフォン向けコンテンツの配信を順次開始するなど進展が見られたものの、こうした新規事業の推進にかかる費用が先行していることから、営業損失2億19百万円(前年同四半期は営業損失1億38百万円)となりました。

※テイクアウトライブ/Take Out Live… コンサートやイベントなどのライブ映像や楽曲をイベント終了後すぐにスマートフォンにダウンロードし、視聴できるサービス。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末と比較して7億47百万円増加し、74億70百万円となりました。資産の部におきましては、繰延税金資産が減少したものの、現金及び預金、売掛金、有価証券、仕掛品などが増加したことにより、流動資産が7億74百万円増加しております。また、退職給付に係る資産などの増加があったものの、有形固定資産の償却による減少や投資有価証券などが減少したことにより、固定資産が26百万円減少しております。

負債につきましては、未払法人税等などが減少したものの、買掛金、前受金、賞与引当金及び役員賞与引当金などが増加したことにより、前連結会計年度末と比較して5億71百万円増加し、16億55百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いにより、利益剰余金の減少があったものの、四半期純利益の計上、その他有価証券評価差額金の変動及びストック・オプションの行使に伴う自己株式の減少などにより、前連結会計年度末と比較して1億76百万円増加し、58億15百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月期の通期連結業績予想につきましては、平成26年10月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳しくは、本日別途公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、東星軟件(上海)有限公司は清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が41,833千円増加し、利益剰余金が26,923千円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の35.6%から、平成27年9月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については33.0%に、平成28年9月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については、32.2%となります。

なお、この税率変更による影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,966,289	2,306,048
売掛金	430,302	544,001
有価証券	66,328	144,055
仕掛品	737,626	1,054,476
繰延税金資産	204,561	88,859
その他	75,876	117,663
流動資産合計	3,480,984	4,255,104
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,207,848	1,211,416
減価償却累計額	△577,626	△605,472
建物及び構築物(純額)	630,221	605,944
工具、器具及び備品	285,031	294,913
減価償却累計額	△261,753	△265,976
工具、器具及び備品(純額)	23,278	28,937
土地	709,565	709,565
その他	68,326	68,326
減価償却累計額	△39,666	△57,386
その他(純額)	28,660	10,940
有形固定資産合計	1,391,725	1,355,387
無形固定資産		
ソフトウェア	64,881	58,200
ソフトウェア仮勘定	4,425	8,765
電話加入権	2,135	2,135
無形固定資産合計	71,441	69,100
投資その他の資産		
投資有価証券	911,308	865,708
退職給付に係る資産	6,789	50,515
繰延税金資産	18,827	9,424
投資不動産	368,235	368,235
減価償却累計額	△48,333	△53,302
投資不動産(純額)	319,902	314,932
関係会社長期貸付金	23,464	29,158
その他	522,238	521,240
貸倒引当金	△24,000	—
投資その他の資産合計	1,778,530	1,790,980
固定資産合計	3,241,697	3,215,468
資産合計	6,722,682	7,470,573



(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	67,261	118,443
短期借入金	10,000	—
未払法人税等	26,253	7,719
前受金	249,918	594,394
賞与引当金	156,472	218,800
役員賞与引当金	—	27,000
その他	295,836	381,482
流動負債合計	805,743	1,347,840
固定負債		
繰延税金負債	—	19,612
役員退職慰労引当金	238,825	248,998
その他	38,954	38,954
固定負債合計	277,780	307,565
負債合計	1,083,523	1,655,406
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	967,000	967,000
資本剰余金	1,313,184	1,313,184
利益剰余金	3,631,708	3,732,901
自己株式	△316,969	△285,199
株主資本合計	5,594,924	5,727,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,425	46,102
為替換算調整勘定	31,256	31,290
退職給付に係る調整累計額	△14,912	△13,476
その他の包括利益累計額合計	17,769	63,916
新株予約権	12,136	7,888
少数株主持分	14,328	15,476
純資産合計	5,639,158	5,815,167
負債純資産合計	6,722,682	7,470,573

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
売上高	3,806,268	3,590,511
売上原価	2,798,488	2,656,619
売上総利益	1,007,779	933,891
販売費及び一般管理費	662,237	669,523
営業利益	345,542	264,368
営業外収益		
受取利息	8,516	12,596
受取配当金	7,638	9,172
有価証券売却益	-	11,766
不動産賃貸料	36,861	36,561
為替差益	15,066	88,690
雑収入	40,949	75,233
営業外収益合計	109,031	234,020
営業外費用		
支払利息	245	115
持分法による投資損失	61,012	34,825
有価証券売却損	-	1,070
不動産賃貸費用	22,225	23,515
雑損失	1,318	5,363
営業外費用合計	84,801	64,890
経常利益	369,772	433,498
特別利益		
固定資産売却益	7,999	2
投資有価証券売却益	20,709	5,517
持分変動利益	-	14,520
新株予約権戻入益	-	4,044
為替換算調整勘定取崩益	-	13,873
特別利益合計	28,709	37,958
特別損失		
固定資産除却損	35	10
投資有価証券売却損	6,657	-
特別退職金	4,245	-
特別損失合計	10,938	10
税金等調整前四半期純利益	387,543	471,445
法人税、住民税及び事業税	152,642	89,014
法人税等調整額	68,758	110,227
法人税等合計	221,400	199,241
少数株主損益調整前四半期純利益	166,142	272,204
少数株主利益	984	1,147
四半期純利益	165,157	271,056

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	166,142	272,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,930	44,676
為替換算調整勘定	2,016	34
退職給付に係る調整累計額	-	1,436
その他の包括利益合計	35,946	46,146
四半期包括利益	202,089	318,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	201,104	317,203
少数株主に係る四半期包括利益	984	1,147

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成26年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書 計上額 (注)2
	ゲームソフト 開発事業	モバイル 開発事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,747,411	800,490	258,366	3,806,268	—	3,806,268
セグメント間の内部売上高 又は振替高	136,646	71,358	650	208,655	△208,655	—
計	2,884,057	871,848	259,017	4,014,923	△208,655	3,806,268
セグメント利益又は損失(△)	368,982	115,222	△138,662	345,542	—	345,542

(注)1 売上高の調整額△208,655千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成27年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書 計上額 (注)2
	ゲームソフト 開発事業	モバイル 開発事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,486,291	871,459	232,760	3,590,511	—	3,590,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	86,540	95,059	33,285	214,885	△214,885	—
計	2,572,832	966,518	266,045	3,805,397	△214,885	3,590,511
セグメント利益又は損失(△)	349,774	134,135	△219,541	264,368	—	264,368

(注)1 売上高の調整額△214,885千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。